

岡本茂樹

現在、少年院で開発されたロールレタリングに関する研究を行っています。臨床研究の場として、刑務所の受刑者の心理面接にロールレタリングを用いて、この技法の効果の検証を行いながら受刑者の支援にかかわっています。人はなぜ犯罪者になるのか、そして犯した罪をつぐなって更生していくためには何が必要なのかを実践を通して学んでいます。

1. 専門演習の目標

学生各自が問題意識をもち、それを臨床心理学における研究方法によって、一つの具体的な成果にまとめあげることを目指す。その過程において、各学生は文献研究や研究計画を発表し、他のメンバーとの間でディスカッションしていくことを重視する。

2. 専門演習で扱う課題と内容

今日、学校、社会や家庭において、思春期や青年期における心の問題は深刻化している。具体的には、不登校やひきこもり、非行や犯罪、摂食障害や虐待など、さまざまな心の問題が起きている。本演習では、非行や犯罪といった課題を中心に、思春期や青年期における心の病理に関する理解を深め、効果的な支援についてさまざまな視点から探究する。

3. 授業の進め方・内容

3回生前期：教員が指定した文献を読む。グループによる報告を通して、全員でディスカッションを行う。

3回生後期：学生各自が関心のあるテーマで研究を行い、卒業論文の研究計画を進めていく。

4回生前期：卒業論文作成に向けた計画を発表し、ディスカッションを行う。

4回生後期：卒業論文の作成。

4. 必要とする知識

「カウンセリング論」や「心理臨床論」など臨床心理学に関する科目。また、質問紙法による研究を考えている者は統計に関する科目。

5. 関連する分野・科目・知識

同上

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

授業のなかで紹介する。

7. 独自に付加する選考方法

特になし。

8. 受講生に望むこと

専門演習は学生が主体的に自分の課題に取り組む場です。各自が積極的に学ぶとともに、全員が参加して盛り上げていきましょう。